



総括質疑とは...

予算等審査特別委員会の全体会議において、会派ごとの持ち時間制で行う質疑のことです。今定例会では、36人の議員が行いました。



地域生活課題の深刻化を防ぐため、はちまるサポートの機能を充実させる。

問 6年度では、八王子まるごとサポートセンター(はちまるサポート)※の機能をどのように充実させていくのか。

答 現行のはちまるサポート2

カ所を基幹型に移行し、地域福祉の専門職を2人から3人に増員する。これにより従来の個別支援型の機能に加え、地域生活課題の早期発見や深刻化予防の仕組みづくりを推進していく。

問 7月からの長房ふれあい館の改修で、館内のはちまるサ

ポータルセンター(はちまるサポート)※の機能をどのように充実させていくのか。

問 新たに開始する未就園児すくすく通園事業の概要は。

答 保護者の就労等の有無にか

かわらず、未就園児を定期的に預かる事業である。本事業により、支援が必要な家庭を新たなサービスにつなぐことや、在宅子育て家庭の孤立防止、育児不安の軽減などに寄与できると考えている。

安心して子育てできる環境を

ポータル長房も仮移転となるが、移転先についての考えは。現在行っている相談や、移転費用などを考慮し、近隣にある既存施設の活用を基本に検討している。

問 本市の未来を支える人を増やすため、子育て世代に選ばれよう、子育てしやすい環境づくりをより強化していくべきと考えるがどうか。



4月に由木事務所内へ移転した「はちまるサポート(木)」(個別支援型)

答 子育てしやすいまちナンバーワンを目指し、未来を担う人づくりを進めるため、保護者が安心して子育てができる環境の充実に取り組んでいく。今後、も着実に施策を実行し、妊娠・出産・子育て等に対する市民の希望がかなう八王子の実現に努めていく。

今後のはちまるサポートは

幼児教育・保育センターの取り組みは

保育園・幼稚園における幼児教育・保育の質の向上を図るため、巡回支援や研修会を実施する。



乳幼児を想定した心肺蘇生法を習得

心肺蘇生法研修や、幼児教育・保育従事者のキャリアに応じた世代別研修を実施

問 幼児教育・保育センターの巡回発達相談は、人員体制などから、保育園等への訪問の実施に限界が生じていると考える。必要な支援を行うための6年度の対応策は。

答 巡回発達相談を希望するすべての児童に対し、相談支援を実施することは重要と考えている。そのため6年度では、個人の支援に加え、複数の児童をグループ単位で支援する新たな取り組みを検討している。

問 保育園や幼稚園で事故を未然に防ぐには、職員への意識啓発が重要である。心肺蘇生法研修会を5年度から実施したが、6年度の取り組みについて聞きたい。

答 5年度は、講義と実技の2本立てで11月に実施した。6年度は、幼稚園の職員が参加しやすい夏休み時期に開催することや、回数も増やすことを考えている。

巡回発達相談を希望するすべての児童に対し、相談支援を実施することは重要と考えている。そのため6年度では、個人の支援に加え、複数の児童をグループ単位で支援する新たな取り組みを検討している。

※地域福祉の専門職が常駐し、市内13カ所に設置している地域の相談窓口